

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	La boite a jouets—音楽の、おもちゃ箱— (読み：ラ ボワット ア ジュウエーオンガクノ、オモチャバ コー)	
代表者名	代表 大橋 端月	
連絡先	TEL : 090-6459-9064 FAX :	E-mail : la_boite_a_jouets_mg@yahoo.co.jp

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	子育て支援事業：「音楽のおもちゃ箱を届けよう♪プロジェクト」と「ユニバーサルデザインコンサート『おはなしクラシック 3～動物の謝肉祭～』」
事業の目的	音楽が心理・発達・身体的に与える良い影響は特に、幼少期の経験として重要です。しかし、現状では多くの子供たちが音楽に親しみやすい環境を十分に持てていません。幼児教育の現場では教育者が多忙であり、教育者自身による高度なパフォーマンスを提供することは難しいでしょう。そのような場合には外部委託という手段がありますが、専門家へ依頼するための資金不足が課題となっております。また、一般的なコンサートは、全年齢層が気軽に参加できる形態になっていないという問題もあります。 そこで、①幼少期の子供たちに音楽という体験活動を積極的に提供し、非認知能力の育成を支援すること、②地域コミュニティの中で音楽に親しみやすい環境を創出し、全年齢層が気軽に音楽体験をすることができるようにすること、これら 2 つを目的とし、子育て支援事業を展開しました。
事業の具体的内容	①の目的に対して…【訪問演奏の実施】 地域の子育て支援施設への協力：保育園、幼稚園、児童館、市民センター等が主催する子育て支援活動に積極的に協力し、親子向けの音楽イベントや講座を提供しました。施設側に資金面での制約がある場合でも、演奏員への交通費は助成金を活用する等して、可能な限り多くの演奏依頼を受け訪問演奏活動をしました。

《実績》8ヶ所

日時：2023年10月5日(木)10:30～

会場：仙台市田子市民センター

催事：絵本の読み聞かせ・歌い聴かせコンサート

主催：仙台市田子市民センター

参加：乳幼児親子10組

日時：2023年11月25日(土)10:00～

会場：仙台市北山市民センター

催事：乳幼児親子向け講座「手作り楽器」

主催：仙台市北山市民センター

参加：乳幼児親子3組

日時：2023年12月1日(金)10:30～

会場：宮城野コミュニティ・センター

催事：出前講座「乳幼児親子のおんがくかい」

主催：仙台市宮城野区中央市民センター

参加：乳幼児親子15組

日時：2023年12月8日(金)10:30～

会場：仙台市東部市民センター

催事：冬のあったかコンサート

主催：仙台市東部市民センター・児童館

参加：乳幼児親子25組

日時：2023年12月18日(月)10:30～

会場：立華認定こども園

催事：クリスマスコンサート

主催：立華認定こども園子育て支援センター

参加：乳幼児親子20組

日時：2024年2月10日(土)10:30～

会場：仙台市幸町市民センター

催事：親子わいわいコンサート

主催：仙台市幸町市民センター・児童館

参加：0歳～小学校低学年の子供とその保護者12組

日時：2024年3月7日(木)10:30～

会場：仙台市幸町市民センター

催事：乳幼児親子向け音楽会

主催：仙台市幸町児童館

参加：乳幼児親子11組

日時：2024年3月11日(月)10:15～

会場：仙台市片平児童館

	催事：乳幼児親子向け音楽会 主催：仙台市片平児童館 参加：乳幼児親子 20 組 ②の目的に対して…【ユニバーサルデザインコンサートの開催】 すべての人が安心して参加できるコンサート「どなたでもコンサート」を開催しました。朗読の字幕化、パントマイムと演奏による視覚・聴覚共に楽しめるパフォーマンス、車椅子席の設置、ライブ中継が可能な多目的モニター室の設置など、多様なニーズに応えられるよう計画しました。パントマイムパフォーマーは、仙台市を中心に子育て支援活動を行っている『クラウンユニット「くみとさっこ」』に依頼しました。同じ志を持つ子育て支援団体と協働し、目的を達成できるよう取り組みました。 《実績》 題 目：『おはなしクラシック 3 ようこそ！「ふしぎな動物園」へ どなたでもコンサート』 日 付：2024 年 3 月 23 日(土)開催 会 場：宮城野区文化センター パトナホール 入場者数：171 人（内：18 歳未満は 71 人） 内 容：2021 年度より毎年継続開催している「おはなしクラシック」シリーズは、朗読を交えた分かりやすいコンサートとして好評を得ています。第 3 回目の「おはなしクラシック」は、「ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DE&I）」精神のもと、“どなたでも鑑賞できる”コンサートとして開催しました。みんなが楽しめるコンサートにするため、企画段階からユニバーサルサービス構想を念頭に置き、運営体制・会場設備・コミュニケーションツールを選定しました。具体的には、字幕付きの朗読・演奏・身体表現パフォーマンスによる多感覚な演出、車いす席・ベビーカー席の設置、補助犬同伴可、休憩室(別室)へのライブ中継など、様々な人への対応に配慮しました。 プログラム内容としては、第一部(15 分)は鑑賞をより楽しむための「プレ演奏&プレトーク」を開催。クイズ形式で子供にも分かりやすく実施しました。 第二部(45 分)は新井鷗子氏の音楽劇台本シリーズより、サン＝サーンス作曲・組曲「動物の謝肉祭」をテーマにした『ふしぎな動物園』を、朗読・ピアノ演奏・パントマイムにより表現しました。
活動の開始から完了までの流れ	①【訪問演奏の実施】について 活動の開始から完了までの流れは、以下の通りです。

	◆開催 2 カ月前…仮プログラム作成→訪問先へ提案 ・季節の手遊びや歌、絵本等を盛り込んだプログラムを提案し、「こんな曲も入れてほしい」という要望があれば受け入れました。 ◆開催 1 カ月前…プログラムの決定と出演メンバーでの合わせ練習、訪問先との打合せなど ◆開催 2 週間前…訪問先と当日の流れ再確認 ◆開催 1 日 前…出演者や出演者の家族で体調不良者が発生した場合は、メンバー内でフォローを行い、できるだけプログラム内容を変えずに実施できるよう調整 ◆開催 日 本 番…45～60 分のプログラムを実施しました。 <u>②【ユニバーサルデザインコンサートの開催】について</u> 活動の開始から完了までの流れは、以下の通りです。 2023 年 8 月…おはなしクラシックの出演者決定・打合せ 2023 年 9 月…開催会場決定・会場申込み 2023 年 10 月…出演者各自練習など 2023 年 11 月…チラシ作成・印刷 2023 年 12 月…広報開始・チケット販売ページ公開 2024 年 1 月…本番想定リハーサル 2024 年 2 月…関係者全員で最終調整打合せ 2024 年 3 月…本番
活動の成果と教訓	<u>①【訪問演奏の実施】について</u> 訪問演奏は、助成金を利用して演奏員の交通費をカバーする、必要な備品や小道具を持参し、どんな環境にも対応できるようにする等を意識して、多くの施設での訪問演奏を実現しました。これにより、経済的負担が大きく外部講師による講座開催にハードルを感じる施設にも、高品質な音楽イベントや講座を提供することができました。子供たちにとっても、豊かな音楽体験を通じて非認知能力の育成支援に寄与することができました。 <u>成果と教訓：</u> 非認知能力の育成： 幼少期の子供たちに音楽を通じた体験活動を提供することで、集中力や協調性、忍耐力、創造力などの社会生活において重要な非認知能力の育成を促しました。施設側が実施した「開催後アンケート」からも、プログラムが充実した内容で満足度が高かったことが伺えました。 経済的負担の軽減： 助成金を活用して演奏員の交通費をカバーすることにより、施設側の経済的負担を軽減しました。これにより、施設は資金の制約を感じることなく、子供たちに質の高い音楽体験を提供できました。

事前準備の軽減：音響機材、大型絵本、絵本を投影するプロジェクター等を持参することで、施設側の事前準備労力の軽減に繋がりました。機材との相性トラブル（当日なのに音が出ない、映らないなど）もなく、スムーズにプログラムを実施することができました。

訪問施設との連携強化：訪問施設との事前ヒアリングを重視し、リクエストがあればできるだけプログラムに反映させました。「“手作り楽器”などの制作時間を組み込んでほしい」、「絵本の歌い聴かせや、BGM を付けた読み聞かせなど、絵本をテーマにしたプログラム構成にしてほしい」、「子供だけでなく保護者にも楽しんでもらえるよう、聴き応えのあるクラシック曲を取り入れてほしい」など、事前の相談を通じて各施設のニーズに応じたカスタマイズを実現しました。

訪問施設からは、以下のような感想がありました。

- ・少ない事業予算のなかから、なんとか講師謝礼額を用意しますが、それでも薄謝であることには変わりはありません。また、演奏やリトミック活動を乳幼児親子に提供したいと思っても、それらの活動は演奏する人、主導する人など講師の人員が多く必要となるため、謝礼×必要講師数となり、より予算がかかります。ほぼボランティアで訪問演奏に来ていただき、地域の乳幼児親子さんへ質の高い音楽を提供でき、本当にありがたいです。ありがとうございました。

- ・プログラム作成から細部に渡り事前に相談することができ、嬉しかったです。こちらのリクエスト曲もプログラムに組み込んでくれて、子供だけでなく保護者にも楽しい時間を過ごしてもらえたと思います。

- ・鈴、マラカス、カスタネットなどたくさんの楽器を持参してくれて、子供たちに配布し一緒に音楽を楽しむスタイルは、飽きやすい子供たちの興味を引く手段としてとても有効だと感じました。他にも、音楽鑑賞→手遊び→身体遊び→楽器遊び…など、飽きさせない工夫を随所に感じる構成作りに脱帽でした。

（一部抜粋）

イベントや講座の対象となる子供・保護者はもちろん、それらを実施する施設側にとっても「助かる！」と思ってもらえるような訪問演奏の形は、イベントや講座の機会をより多く創出する動機付けとして重要です。機会が増えれば、それだけ文化芸術体験に触れる子供が多くなることに繋がるので、“実施する施設の普段を軽減する”という着眼点は重視されるべきであると改めて実感しました。主催施設と、子供と、保護者と、全員が

Win-Win になる訪問演奏のスタイルを、今後も継続していきたいと思っています。

②【ユニバーサルデザインコンサートの開催】について

文化芸術へのアクセスは生活の質を高め、豊かな人間性を育む上で不可欠な要素です。しかし、様々な障壁によって、すべての人がこれらの文化的価値を等しく享受する機会を得られているわけではありません。特に、乳幼児やその保護者、身体的な障害を持つ人々、言語や文化の違いに直面する非日本語話者、内部障がいを持つ人々など、多様な背景を持つ人々が十分にイベントに参加できない、または参加しても楽しむことが難しい状況があります。

こうした状況は、障壁の存在そのものだけでなく、イベントの企画・実施段階での障壁に対する認識の不足や、対応するための具体的な知識やスキル、資源の不足から生じています。例えば、車いすユーザーやベビーカー、医療用バギーのための動線の確保、介助犬の入場許可、多言語対応、特定の障害を持つ人への適切な配慮が行われていない事例は数多く、これらはすべての人がイベントを等しく楽しむ権利を制限しています。特にクラシックコンサートにおける年齢による入場制限、静寂の要求、情報量が「音」しか無いという演出などは、参加を希望する多くの人々にとって障壁となっています。これらの要因は、特に小さな子供たちや、特定の社会的ルールに順応することが難しい人々にとって、クラシックコンサートへの参加を一層困難にしています。

このような現状を踏まえ、当団体は「おはなシクラシック どなたでもコンサート」を通じて、DE&I の精神に基づき、誰もが障壁なく文化芸術を楽しめる環境を提供することを目指しました。その結果、「おはなシクラシック どなたでもコンサート」の開催は、多方面からの肯定的なフィードバックと具体的な成果をもたらしました。初の開催である 2023 年度のコンサートでは、ユニバーサルデザインの考え方を基に、車いす・ベビーカー・医療用バギーや補助犬ユーザー、聴覚障害、内部障害を持つ来場者への配慮を徹底しました。これにより、多様なニーズに対応した環境を提供し、文化芸術へのアクセシビリティを拡大しました。

具体的な成果としては、乳幼児を含む家族単位での来場が多かったこと、日本語字幕付き朗読や多感覚を刺激する演出が分かりやすかったこと、休憩室の提供などが来場者から高く評価されました。また、チケットは前売りの段階で完売するなど、このようなコンサートへの高い需要を確認することができました。参加者からは「継

	続して開催してほしい」という声が多数寄せられ、コンサートの総合的な満足度も高い評価を得ました。(成果の可視化はアンケートによる)
今後の展望など	①【訪問演奏の実施】について 訪問演奏活動は、今後も継続して行っていきたいと思えます。消耗品や練習会場代、演奏員の交通費など、施設からの講師謝礼や助成金だけに頼るのではなく、他の資金調達方法を模索し、より多くの子供たちに音楽の恩恵を届けられるよう努力していきます。 ②【ユニバーサルデザインコンサートの開催】について 今後も「おはなしクラシック どなたでもコンサート」を開催していけるよう計画を進めます。2024年度は、(別に申請している助成金の採択結果にも左右されますが) 少なくとも1回、多くて2回の開催を予定しています。1回目の開催では、前回の配慮事項を踏襲しつつ、新たに英語字幕の提供や英語アテンダーの採用を行い、非日本語話者への配慮を強化します。また、演出面では、ピアノ演奏に加えてマリンバ演奏を取り入れることで、演出の幅を広げ、より多様な感覚に訴えるコンサートを目指します。2回目の開催では、新しい演目を初演し、これまでの配慮事項を踏襲しながらも、さらに「どなたでも分かりやすく楽しめる」クラシックコンサートを提供します。これらの取り組みを通じて、私たちは文化芸術イベントへの参加機会のさらなる拡大を目指し、障壁のない社会の実現に貢献していきます。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	400,000 円	
仙台市市民文化事業団	70,000 円	
事業収入	173,000 円	コンサートチケットなど
自己負担金	1,402 円	
合計	644,402 円	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
会議費	【おはなシクラシック】関係者 12 名分の弁当・お茶・雑菓子代	11,000 円	9,311 円
通信運搬費	【おはなシクラシック】後援名義申請書類郵送代、チラシ配布の郵送代、問合せ番号取得代	4,000 円	2,160 円
消耗品費	【おはなシクラシック】コンサート開催に必要な消耗品類（小道具制作の材料代、チケット用紙、共演者花束代、アンケート用えんぴつ、お弁当仕分け袋、ゴミ袋代ほか） 【訪問演奏】プログラム演出に使用した、小道具作りや小物類（ストロー、ジャンボバルーン、ハンドバベット、収納バッグと BOX、HDMI ケーブル、ふうせんセット、ふうせん用スティック訪問演奏 収納バスケット、フェルト、粘着ワンタッチシート、不織布、フレークシール他）	32,000 円	47,420 円
手数料	【おはなシクラシック】チケットプレイガイド手数料	6,000 円	5,173 円
図書費	【おはなシクラシック】楽譜コピー代 【訪問演奏】楽譜代、楽譜コピー代	5,000 円	5,708 円
賃借料	【おはなシクラシック】宮城野区文化センターパトナシアターのリハーサルや本番施設使用料・付帯設備料・冷暖房料、配信会場の和室使用料として	69,000 円	141,290 円
備品費	【おはなシクラシック】【訪問演奏】共通備品（マイクスタンド用キャリングバッグ、マイクケーブル、スピーカーケーブル、マイクケース、楽器用ケーブル、ベジタブル&フルーツシェイカー、プロジェクター、プロジェクター用三脚、キーボードスタンド、カスタネット、ラミネーター&フィルム、オーシャンドラム、RODE NT5-MP コンデンサマイク、YAMAHA MG10XUF アナログミキサー、HDMI ケーブル）購入費用	234,000 円	189,130 円
広報宣伝費	【おはなシクラシック】チラシ作成（Adobe Creative Cloud コンプリートプラン 2 ヶ月使用料）、チラシ&プログラムネット印刷代	20,000 円	23,210 円
旅費交通費	【おはなシクラシック】本番時グループ演奏員の交通費代として 【訪問演奏】グループ演奏員の交通費代として	30,000 円	34,000 円
諸謝金	【おはなシクラシック】アルバイト 3 人分の謝礼(交通費含)、オンライン配信者の謝礼(交通費含)、写真記録撮影者の謝礼(交通費含)、パントマイムパフォーマンス出演謝礼(交通費含)、グループ演奏員出演謝礼	198,000 円	187,000 円
合計		609,000 円	644,402 円

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

おはなしくらங்க3

ようこそ！「ふしぎな動物園」へ
どなたでもコンサート



♪不思議な動物園の世界を、お話・ピアノ・演技で分かりやすく表現。
イラスト字幕付きのピアノコンサート、子供から大人までみんな集まれ！

3・23²⁰²⁴ sat

開演14:00 開場13:30

♪サン＝サーンス作曲『動物の謝肉祭』新井鷗子の音楽劇台本シリーズより

【プログラム】序奏～師子王の行進～メンドリとオンドリ～ロバ～亀～象～カンガルー～水族館～
耳の長い登場人物～森の奥に住むカッコウ～鳥～ピアニスト～化石～白鳥～終曲

会 場	宮城野区文化センター パトナシアター（仙台市宮城野区五輪2-12-70） ※ 駐車場に限りがあります。ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用いただきますよう、ご協力ください。	チケッ	全席自由席 18歳未満無料 ※要整理券 一般前売り券2,000円 当日券2,200円 一般ペア（2枚組）3,000円 ※ペアの当日券販売無し ※チケットや整理券の入手方法は裏面をご覧ください。
助 成 後 援	みやぎ生協福祉活動助成金（2023年度上期） （公財）仙台市市民文化事業団（活動助成） 仙台市、仙台市教育委員会、 （公財）仙台ひとまち交流財団、河北新報社	主催 問合せ	La boîte à jouets—音楽の、おもちゃ箱— 【電話】 【HP】 【Instagram】 【メール】 【YouTube】 050- 1809 1870    

「不思議な動物園」には、面白い動物たちが沢山登場します。

ライオンの王様、ニワトリの夫婦、色とりどりの魚たち、..
ワルツをおどる象のおばあさん!? イメージできますか? ご安心ください!
物語を、お話とイラスト、身体表現パフォーマンスで分かりやすく表現し、
どなたでも「気軽に楽しんでもらえる」ピアノコンサートを提供します。

出演者

La boîte à jouets—音楽の、おもちゃ箱—

『La boîte à jouets(ラ ボワット ア ジュウエ)』はフランス語で『おもちゃ箱』という意味です。“子どもがおもちゃ箱を開けたときの感動や、ワクワクした気持ちを音楽で届けたい!”という思いを持って活動しています。(メンバーは宮城学院女子大学音楽科卒業生)



大橋 端月
代表・朗読



榎本 未来
ピアノ演奏



渡部 寛菜
ピアノ演奏



遠藤 真梨子
ピアノ演奏



今野 佳奈
ピアノ演奏

クラウンユニット「くみとさっこ」

劇団仲間だった2人(片倉久美子・宿左紀子)が、2016年に結成したユニットです。普段は児童館などでクラウンショーを行っています。今回は初めてコンサートに出演! さて、どんなことになるのやら...!?



チケット購入方法

2024年1月23日(火) 11時より販売開始

窓口販売	【カワイ仙台・1階プレイガイド】 電話番号: 022-261-2851 定休日: 月曜日定休(祝日も含む) 営業時間: 11:00~18:00 住所: 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-3-28(河合ビル)
	【PassMarket(パスマーケット)】 右記QRコードを読み込み、パスマーケットの予約フォームに必要事項をご入力ください。 ※Yahoo! JAPAN IDが必要です。 ID取得にお金はかかりません。
Web販売	
チケット種別	一般前売り券2,000円 当日券2,200円 一般ペア(2枚組)3,000円 ※ペアの当日券販売無し 18歳未満は無料(要整理券)

※一般前売り当日券は、残席がある場合のみ、パナホールホワイエ受付にて販売いたします。チケットの残席状況は各種SNSにて随時お知らせします。

整理券について

- ◆ 18歳未満の方の入場整理券は、窓口・Web両方から取得することができます。窓口の場合は受付スタッフに必要枚数をお伝えください。Webの場合は券種「整理券」を選択し、0円購入してください。
- ◆ 一般チケット1枚につき、2枚までの整理券を取得することが可能です。
- ◆ 整理券のみのお渡しは行っておりません。一般チケットとセットになります。
- ◆ 整理券は必要枚数分のみを取得し、多めに確保することのないよう、ご協力をお願いします。

記録について

本コンサートは記録のために、写真と動画の撮影を行います。写り込みNGの場合は、開演前に受付へお声がけください。目印となるシールをお配りしますので、撮影者から見て分かりやすい場所(または身体の部位)へ貼り、意思表示をお願いします。シールを付けられている場合でも、後ろ姿や遠景で写り込む可能性がございます。完全写り込み回避が難しいこと、何卒ご了承ください。



「どなたでもコンサート」とは

このコンサートは「どなたでも」気軽に鑑賞でき、一緒に楽しむことを目標としたコンサートです。
“お互い様”の精神で、ゆったりとした心を持ち、舞台をお楽しみください。



全席自由



車椅子・
バギー可



0歳から
入場可



客席は
薄明るい



上演中
の入退室可



イヤーマフ
OK



多目的
トイレあり



休憩室あり



休憩室へ
同時中継



朗読の日本
語字幕付き



補助犬
同伴OK



駐車場有



事前に主催者へ知らせておきたい配慮事項等ございましたら、メールにてお知らせください。Webチケット申込みですと、申込みフォームに「必要な配慮等」の入力欄があり、申込みと同時に伝えることができ、便利となっております。ぜひご利用ください。

3/23『おはなしクラシック3 ようこそ！「ふしぎな動物園」へ どなたでもコンサート』公演レポート

La boîte à jouets—音楽の、おもちゃ箱—

「おはなしクラシック」シリーズの一環として、2024年3月23日に仙台市宮城野区文化センターで『おはなしクラシック3 ようこそ！「ふしぎな動物園」へ どなたでもコンサート』と題した新感覚クラシックコンサートを開催しました。このイベントは、障がいの有無や年齢に関わらず、すべての参加者が気軽に楽しめることを目的として企画しました。約1時間にわたり、聴き応えと見応えのあるクラシック音楽のパフォーマンスが披露され、観客の皆様には新たな体験をご提供することができました♪

そんな「どなたでもコンサート」の様子をお伝えします。



《出演》

【演奏】

La boîte à jouets (ラ ボワット ア ジュウエ) —音楽の、おもちゃ箱—

宮城学院女子大学音楽科を卒業したメンバーで構成する、音楽グループです。

所属メンバーより大橋 端月 (朗読)、榎本 未来 (ピアノ)、渡部 寛菜 (ピアノ)、遠藤 真梨子 (ピアノ)、今野 佳奈 (ピアノ) が出演しました。

【身体表現パフォーマンス】

クラウンユニット「くみとさっこ」

劇団仲間だった二人 (片倉 久美子・宿利 左紀子) が、2016 年に結成したユニットです。普段は児童館などでクラウンショーを行っていますが、今回は初めてコンサートに出演！さて、どんなことになるのやら…！？



La boîte à jouets—音楽の、おもちゃ箱—(左側5名)×クラウンユニット「くみとさっこ」(右側2名)の初コラボレーション

今回のコンサートは、主催団体「La boîte à jouets—音楽の、おもちゃ箱—」と、クラウンユニット「くみとさっこ」との初めてのコラボレーション企画で行われました。このイベントでは、主催団体が従来まで開催してきた朗読とピアノ演奏のコンサート「おはなしクラシック」シリーズの新演目に、新たに身体表現を組み合わせた新しい形のコンサートとして提供し、多感覚で楽しむ体験を実現しました。

公演終了後、私たち主催団体から「動物風船」のプレゼント♪「楽しかったよ」、「次も楽しみにしています」などのお声がけを直接頂きながら、出演者とお客様との触れ合いの時間となりました。



<お客様の声（アンケートより）>

- 身体表現、朗読が大変良かったです。小道具やステージの使い方も工夫されていて、とても広く感じました。楽しみにしていた期待通りの内容でした。次回も楽しみにしています。
- 行くまでは「動物の謝肉祭」をピアノだけでと思っていましたが、実際に聴いてこれもありだと思いました。朗読、映像、パフォーマンスと小さな子どもを飽きさせない工夫に感心しました。
- このようなコンサートはあまりないので、すごく楽しく過ごすことができました。3歳、1歳の子供もすごく目を輝かせていて、楽しかったと言っていました。また機会がありましたら、ぜひ鑑賞させていただきたいと思います。

- 子供連れの芸術鑑賞は難しいので、このような機会とても素晴らしく嬉しかったです。ありがとうございました。演目・パフォーマンス・演奏とても良かったです。
- 「どなたでも参加できる」…とても良かったです。プレ演奏とクイズがわかりやすく、本番に向けて盛り上げてくれて良かったです。また参加したいです。
- 1歳、7歳、10歳の子供もみんなで楽しめました。特に1歳の子供が1時間見てられたのは、すごいと思いました！
- 音楽、朗読、パフォーマンス、ステンドグラス風のイラストなどなど、多彩な演出で楽しめた。子供から大人まで世代を超えて楽しめる、素晴らしい企画だと思います。
- 1時間、面白くて飽きませんでした。とても楽しかったです。また来たいです。(子供の感想)
- とてもストーリーが面白かった。ピアノの音もとても綺麗だった。お芝居も良かったです。ありがとうございます。(子供の感想)

今回のコンサートは「どなたでも楽しめる」というテーマのもと、あらゆる年齢や障がいを持つ方々にもアクセスしやすい環境を整えて開催しました。以下は、主催するに至った背景となります。

主催団体のメンバーは、主に幼児から小学生を育てる「母親」という側面があり、普段から音楽を身近なものとして子供たちにも伝えたいという強い気持ちがありました。私たちが聴衆側としてコンサートを楽しみに行くことがあります。やはり現状、乳幼児を育てる保護者はクラシックコンサートに参加しにくいなあという現状に直面していたのです。0歳児から入場可能で、子供でも飽きにくいファミリー向けコンサートの機会が不足していると感じ、「無ければ、私たちがそんなコンサートを創ろう!」と企画することを決めました。

またメンバーのなかには、普段、障がいのある方を対象とした音楽プログラムをご提供する音楽療法士も在籍しています。そこで、対象はファミリーだけでなく「クラシックコンサートに行きたいけど、バリアを感じて行きにくい」と感じる【できるだけ多くの方々】に、参加したいと思ってもらえるコンサートにしようと考えました。

具体的には、0歳からの入場を可能とし、車椅子やバギーのままでも鑑賞がしやすいスペースを確保しました。また、会場は常に薄明るい状態が保たれ、上演中でも自由に入退室ができるようにしました。舞台の様子をライブ中継している休憩室も別室に設けて、会場内のいたるところで公演を楽しむことができる環境づくりに努めました。



プログラム構成や舞台演出では、物語をより理解しやすくするために、朗読に日本語字幕を付けたイラストをスクリーンに映し出しました。ピアノ演奏だけでなく、身体表現のパフォーマンスも取り入れることで、視覚的な要素を強化し、多感覚で楽しめる内容に仕上げました。「音楽イベントを楽しめない人がいる状況を変えたい」という私たちの思いから、「どなたでもコンサート」は生まれました。

<お客様の声（アンケートより）>

- 小さいお子さんたちの楽しそうにはしゃぐ声も、舞台演出の一つ？と思えるくらいほのぼのと楽しい舞台でした。
- 0歳からのご来場、車椅子席などのご配慮その他、素晴らしいピアノ演奏や構成に、拍手でした。素敵なお時間ありがとうございました。
- 子供が産まれてからコンサートに行けなかったのですが、0歳から入場できて、途中入退室ができるというのがとても良かったです。また来たいと思います。

➤ 音楽をする者として、このように誰でも楽しめるコンサートが、もっと日常に当たり前になる社会が来ればいいと思います。応援しています。良い時間をありがとうございました。

本コンサートは、200席というキャパシティが満員御礼となりました！需要があるのだな、と実感しました。結果的にはお子さん連れのお客様が多く来場されましたが、私たちは「子供だけ」にフォーカスしていたわけではありません。大人にも同じように楽しんでほしい。子供でも、大人でも、障がいのある方でも、ない方でも、「みんな」が楽しめるイベントであってほしいと、企画構想の段階から様々な合理的配慮を想定して計画してきました。

楽しいはずのイベントやコンサートに、見えないバリアがあり、楽しいはずのイベントで、傷つく人がいるかもしれません。そうあってはならない…「イベントから取り残される人をゼロにする！」ために、私たちはこれからも様々な工夫を凝らして「どなたでもコンサート」を企画していきたいと思います。



出演者みんなで、動物ポーズ！（どんな動物に見えますか？）これからも頑張ります！

余談になりますが、最近、代表の子供が小学校に入学しました。地域的に国際色豊かな学校だったようで、外国にルーツを持つであろうお子さんたちが多く、国際教室があります。娘と仲良くしてくださっている近所のお子さんも、外国にルーツのある子供です。時々外国語が混ざりつつ、基本的には日本語でやり取りしていますが、言葉が通じにくい時があってもキャッキャウフフと楽しそうにしています。そんな

様子を見て、次回は言葉の壁も越えていけたらなあ、そんなコンサートを開催できないかな、と構想しています。

最後となりますが、本コンサート開催のためにご尽力いただいた全ての方々に、感謝いたします。助成団体の「みやぎ生協福祉活動助成金(2023 年度上期)」様、「(公財)仙台市市民文化事業団(活動助成)」様、広報面でご協力いただきました「仙台市市民活動サポートセンター」様、後援してくださった各種団体の皆様、当日スタッフの皆様、素敵な写真を撮影してくださったカメラマン佐藤様、共演者の「くみとさっこ」様、そしてグループメンバーのみんな、聴きに來てくださったお客様…本当に、ありがとうございました！